

明解 国語総合

改訂版

■ご案内

教科書の特徴	1
現代文・表現編	2
古典編	4
教科書ダイジェスト	8
指導書・教材	30
デジタル教科書	32

*この資料は、一般社団法人教科書協会「教科書発行者行動規範」に則って作成しています。

国総 339

三省堂版 国語教科書

★印は平成29年度新刊, ☆印は平成30年度新刊です。

<p>★ 国語総合</p> <p>高等学校国語総合 現代文編「改訂版」 A5判/280ページ 国総 336</p>	<p>★ 国語総合</p> <p>高等学校国語総合 古典編「改訂版」 A5判/192ページ 国総 337</p>	<p>★ 精選国語総合</p> <p>「改訂版」 A5判/400ページ 国総 338</p>	<p>★ 明解国語総合</p> <p>「改訂版」 A5判/360ページ 国総 339</p>
<p>☆ 現代文B</p> <p>高等学校現代文B 現代文編 A5判/440ページ 現B 323</p>		<p>☆ 精選現代文B</p> <p>「改訂版」 A5判/408ページ 現B 324</p>	<p>☆ 明解現代文B</p> <p>「改訂版」 A5判/372ページ 現B 325</p>
<p>☆ 古典B</p> <p>高等学校古典B 古文編「改訂版」 A5判/260ページ 古B 333</p>	<p>☆ 古典B</p> <p>高等学校古典B 漢文編「改訂版」 A5判/184ページ 古B 334</p>	<p>☆ 精選古典B</p> <p>「改訂版」 A5判/372ページ 古B 335</p>	
<p>現代文A</p> <p>現代文A B5判/144ページ 現A 303</p>	<p>古典A</p> <p>古典A B5判/144ページ 古A 306</p>		

明解国語総合編集委員

中列正 兵庫教育大学名誉教授
三浦和尚 愛媛大学
太田 亨 愛媛大学
加藤康子 元梅花女子大学
加納諄治 編集者
小助川元太 愛媛大学
高山実佐 國學院大学
田中宏幸 広島大学
千葉 聡 横浜市立桜丘高等学校
福田安典 日本女子大学
梶井英人 大阪府立北野高等学校
森下治生 元東京都立文京高等学校
若松伸哉 愛知県立大学

★三省堂教科書・教材サイト

<http://tb.sanseido.co.jp>

三省堂国語教科書

検索



三省堂

〒101-8371 東京都千代田区三崎町2-22-14 ☎03(3230)9411(編集)・9556(営業)
 ●大阪支社 ☎530-0002 大阪市北区曽根崎新地2-5-3 ☎06(6341)2177
 ●名古屋支社 ☎460-0002 名古屋市中区丸の内3-21-31 協和丸の内ビル2F ☎052(953)9211
 ●九州支社 ☎810-0012 福岡市中央区白金1-3-1 ☎092(531)1531・1532
 ●札幌営業所 ☎060-0042 札幌市中央区大通西15-2-1 ラスコム15ビル3F ☎011(616)8722

明解国語総合

改訂版



国総 339 A5判・360ページ

評論 4 教材
随想 5 教材
小説 5 教材
詩歌 6 教材
古文 15 教材
漢文 15 教材

教科書の編集方針

- 1 国語学習の基礎・基本を重視し、実生活に役立つ国語の力を獲得する。
- 2 さまざまなものの見方、考え方にふれ、幅広い人間性を育てる。
- 3 言語文化の諸側面を取り上げ、日本の伝統的な文化に親しむ態度を養う。
- 4 日常生活において適切に表現し、伝え合う力を身につける。

教科書の特徴

現代文・表現編

中学校の学習から円滑に接続し、基礎・基本をおさえた現代文・表現編

- 現代文教材は、定評のある教材と清新な教材をバランスよく配列。平易な文章にして、生徒の思考を促し、心に残る教材をそろえました。
- 表現教材は、短時間で取り組む活動と、じっくり取り組む活動との二系列で構成。「教室でともに学ぶ」ということを大切にしながら、表現することの楽しさを体験できる活動を配列しました。

古典編

古典を読む楽しさを味わう古典編

- 国語総合で読んでおきたい作品を厳選して収録。図版や写真を盛り込んだり、丁寧な注釈をつけたりするなど、古典を抵抗なく読み進められるように配慮しました。
- 豊富なコラムを設け、古典の世界により親しみがもてるようにしました。

指導書・教材

指導に役立つ資料と学習を助ける教材類

- 指導書には、教材研究や評価に活用できる資料はもちろん、ワークシート・テスト問題・補充教材などを豊富に収録しました。
- 「主体的・対話的に学びを深める活動案」を新設し、アクティブ・ラーニングの視点を生かした指導例を示しました。



1 随想二
ベトナムのコーヒー屋(角田光代) **コミュニケーション**
負け方を習得する(内田樹) **生き方考え方**

2 小説二
とんかつ(三浦哲郎)
オムライス(宮下奈都) **新**
ブックガイド一

話す・聞く2 なんて、言っている?

3 詩
シリウス(石津ちひろ)
シミ(石垣りん)
校庭で(小野十三郎) **新**
ブックガイド二

4 評論一
魚は陸から離れられない(松浦啓二) **自然・環境**
海ガメの無念 読み比べ

5 随想二
ツゴイネルワイゼン(黒柳徹子) **戦争平和**
書く3 私の発見や変容を伝える 感想文報告文 **新**
ブックガイド三

6 小説二
バスに乗って(重松清)
なめとこ山の熊(宮沢賢治) **新**
話す・聞く3 この本を読んでみて!ブックトーク
遠い片手 短歌九首
麦わら帽子のへこみ(穂村弘)
ブックガイド四

7 短歌・俳句
春のオルガン 俳句十二句
書く4 原作と勝負!
水の東西(山崎正和) **比較文化**
問題解決の心理学(堀井秀之) **心理脳**
話す・聞く4 討論ゲームを楽しもう

8 随想三
豊かな仕事言葉(小関智弘) **労働・言語** **新**
「発見」最初は気づかない(福岡伸一) **科学・探究** **新**
書く5 マンガの楽しみ
羅生門(芥川龍之介)
話す・聞く5 新聞を持ち寄って編集しよう まわし読み新聞 **新**

9 評論三
届く言葉、届かない言葉(鷺田清二) **コミュニケーション**
書く6 新聞に投書してみよう 意見文

10 小説三

11 評論三

〇…本内容解説資料でご紹介するページ

オムライス **宮下奈都**
魚は陸から離れられない 松浦啓二

1 世界の魚の分布割合(単位:%) (執筆年:2008年より作成)

種別	割合
温帯域	33.9%
熱帯域	66.1%

2 海洋と陸地の面積比 (執筆年:2009年より作成)

種別	面積	割合
海洋	361,000,000 km ²	70.8%
陸地	149,000,000 km ²	29.2%

3 海洋の深さの割合比 (執筆年:1992年より作成)

深さ	面積	割合
浅海(水深200m未満)	10,800,000 km ²	3.0%
大陸棚(水深200m~2,000m)	41,900,000 km ²	12.1%
深海(水深2,000m以上)	298,300,000 km ²	84.9%

4 魚の種数 (執筆年:2009年より作成)

水域	種数	割合
淡水域	13,500種	34.2%
汽水域	11,932種	29.8%
海水域	16,568種	42.0%

5 水域別の魚の割合 (執筆年:2009年より作成)

水域	割合
淡水域	11.4%
汽水域	25.0%
海水域	63.6%

清新な魅力あふれる教材を発掘

なんて、言っている?

話す・聞く1 自分を印象づけるスピーチ 自分を漢字で表すと?

話す・聞く2 なんて、言っている?

話す・聞く3 この本を読んでみて!ブックトーク

話す・聞く4 討論ゲームを楽しもう

話す・聞く5 新聞を持ち寄って編集しよう まわし読み新聞 **新**

書く1 隣の友達

書く2 情報の読み方・扱い方 **新**

書く3 私の発見や変容を伝える 感想文報告文 **新**

書く4 原作と勝負!

書く5 マンガの楽しみ

書く6 新聞に投書してみよう 意見文

楽しみながら力をつける表現教材



古文

1 古文入門

古文の世界へ

兎のそら寝 (宇治拾遺物語)

検非違使忠明 (宇治拾遺物語)

歴史的仮名遣い・古語の意味と形 古文のとびら1

徒然草

公世の二位のせうとに

高名の木登り

丹波に出雲といふ所あり

枕草子

五月ばかりなどに

にくきもの

方丈記

ゆく河の流れ

三大随筆

助動詞・助詞・係り結び 古文のとびら2

竹取物語・枕草子 平家物語・徒然草・奥の細道・春晓・論語

古典の響き

2 随筆

3 物語

4 和歌

5 軍記

古典文法の要点

1 用言の活用

2 助動詞・助詞

源氏物語の世界へ コラム

敬語 古文のとびら4

木曾の最期

平家物語

和歌の修辞 古文のとびら3

三大歌集 コラム

万葉集

古今和歌集

新古今和歌集

うたう心

伊勢物語

芥川

筒井筒

「筒井筒」について 『恋する伊勢物語』より (俵万智)

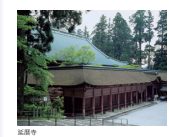
兎のそら寝

宇治拾遺物語



今昔 昔の山に 兎ありけり 觀たれ、
よみの つれづれに、
「いざ、かもちいせせな」
と、言ひける、この 兎、も寄せに聞きけり。
さりとて、し、出だむを、待て、霧さむも、
わろかりなむと、思ひて、片方に、寄りて、親なる
由にて、世でくるを、待てけるに、すでに、
し、出だしたる、さにて、ひしめきまひたり。

この 兎、さだめて、おどろかむらむと
待ちあなるに、體の、
「もの申しきらはむ、おどろかせまへ」
と、言ひ交うれしは、思へども、ただ、一度に



兎 (高野工入絵社) 鎌倉時代

この兎は、さだめて、おどろかむらむと待ちあなるに、體の「もの申しきらはむ、おどろかせまへ」と言ひ交うれしは、思へども、ただ一度に

源氏物語の世界へ

歴史的背景

源氏物語の成立

源氏物語の成立

源氏物語の成立

古文の基礎をおさえるコラム

源氏物語の世界へ

源氏物語の成立

源氏物語の成立

源氏物語の成立

古文の世界に親しむコラム

1 漢文入門

漢文の世界へ
故事成語

虎の威を借る

蛇足

故事成語と遊説家 コラム

漢詩の世界

静夜思(李白)

勸酒(于武陵)

涼州詞(王翰)

江南春(杜牧)

月夜(杜甫)

香炉峰下、新卜山居、草堂初成、偶題 東壁(白居易)

日本人と唐詩 コラム

漢詩の形式 漢文のとびろ

論語の言葉

学問

生き方

人との関わり

孔子の人生 コラム

漢文
虎の威を借る



1 虎は動物を食めて、人を食らふ、威を得たり。
2 狐は、
3 子、欺へて、我を食らふこと無かれ。
4 天狗、我をして、百獣に長らしむ。
5 今、子、我を食らばば、是れ天狗の命に違ふなり。
6 子、我を以て、何ならずと、為さば、孫子の爲に先行せん。
7 子、我が後に、劍ひて、撃た。

1 百獸の我を見て、敢へて、走らざらんや、と、
2 虎、以て、然と、為す。故に、遂に、之を行く。
3 狐、之を見て、皆、走る。
4 天狗の、己を、畏れて、走る、知らざるなり。
5 以て、狐を、畏ると、為さずなり。
(羅大酉)

1 虎は動物を食めて、人を食らふ、威を得たり。
2 狐は、
3 子、欺へて、我を食らふこと無かれ。
4 天狗、我をして、百獣に長らしむ。
5 今、子、我を食らばば、是れ天狗の命に違ふなり。
6 子、我を以て、何ならずと、為さば、孫子の爲に先行せん。
7 子、我が後に、劍ひて、撃た。

1 百獸の我を見て、敢へて、走らざらんや、と、
2 虎、以て、然と、為す。故に、遂に、之を行く。
3 狐、之を見て、皆、走る。
4 天狗の、己を、畏れて、走る、知らざるなり。
5 以て、狐を、畏ると、為さずなり。
(羅大酉)

抵抗なく読み進められる漢文入門教材

4 史話

史話を読む 「三国志」の人々

蓋頭上題 合字 (世説新語)

前有 大梅林 (世説新語)

死諸葛走 生仲達 (十八史略)

三国志を楽しもう コラム

訓読のきまり

漢詩の形式

漢詩の形式は、漢文の文法と異なる。漢詩は、五言・七言の二種があり、句は五字か七字からなる。また、詩の韻は、句の末尾にあり、平声・上声・去声・入声の四声をもち、句の末尾の音が同じか、二つ上の音が同じか、三つ上の音が同じか、といった韻律がある。

漢詩の形式	韻脚	格律	句法
五言	五言絶句 五言古体 五言律詩 五言排律 五言長句	五言絶句 五言古体 五言律詩 五言排律 五言长句	五言絶句 五言古体 五言律詩 五言排律 五言长句
七言	七言絶句 七言古体 七言律詩 七言排律 七言长句	七言絶句 七言古体 七言律詩 七言排律 七言长句	七言絶句 七言古体 七言律詩 七言排律 七言长句

漢詩の形式は、漢文の文法と異なる。漢詩は、五言・七言の二種があり、句は五字か七字からなる。また、詩の韻は、句の末尾にあり、平声・上声・去声・入声の四声をもち、句の末尾の音が同じか、二つ上の音が同じか、三つ上の音が同じか、といった韻律がある。

漢文の基礎をおさえるコラム

資料編

原稿用紙の使い方

手紙の書き方
情報の収集と発信
話し合いの方法
表現テーマ例集

古典文法要覧

● 単語の分類

● 動詞活用表 (文語・口語)

● 形容詞活用表 (文語・口語)

● 形容動詞活用表 (文語・口語)

● 文語助動詞活用表

● 文語助詞の分類

古文重要語句

文学史年表

漢文参考略年表

漢文の基本形式

常用漢字表・付表

古典の中の植物・古典の中の色

装束

住居・調度

時刻・方位・干支表・月の異名

陰暦月齢表

旧国名・都道府県名対照図

平安京条坊図・内裏・大内裏

京都付近地図・奈良付近地図

中国参考地図

故事成語と近地図

今使われなくなった漢語(赤心)は、昔には漢語家の命を奪うことを指す。命を奪うことを指す。



漢文の世界に親しむコラム

オムライス

現代文編は、清新で魅力あふれる教材を発掘し、定評ある教材とともに配列。生徒が興味・関心をもって、主体的に考えたり、思いを深めたりすることができるようにしました。

宮下奈都

母親が仕事から帰るのを待つ間、いつも独りぼっちで過ごす男の子が、ある日公園で古い本を拾う。この本が男の子にもたらししたものとは何か。

その公園で男の子はいつも独りぼっちでした。アパートの部屋にいと、向かいの公園から子どもたちのにぎやかな声が聞こえてきて、誘われたような気がするのです。それでつい出かけていくのですが、ただ黙ってベンチに座っているだけでは誰も声をかけてくれることはありません。子どもたちはみんなそれぞれ自分たちのことに夢中でした。

しばらくそうして座っていてから、暗くなる前に部屋に帰ります。灯りを付け、お米を研ぎ、母の帰りを待つのでした。母はとても優しいけれど、いつも忙しくてつかれているように見えました。

ある夕方、公園のベンチで本を拾いました。古い本のようにでした。ちよつとページをめくってみて、それからまた元の場所に戻しました。興味を引かれるよ

うな本ではありませんでした。白黒の写真と文字ばかりで、ところどころに茶色い染みがついていました。

本を置いたのとは反対の端に腰をかけ、楽しそうに遊ぶ子どもたちをぼんやりと見ていました。滑り台や砂場の女の子たち、走りまわる男の子たち。いつか誰かが入れてくれるかもしれない。何してるの、遊ぼ、つて誘ってくれるかもしれない。男の子はその時のことを思うとどきどきしました。

一人帰り、二人帰り、最後の一人になる前に急いでベンチを立ちます。公園を最後に出る時ほど心細くなる時はありません。ふと、さっきの本がベンチに残されるのがかわいそうになりました。誰かが拾ってくれるような立派な本には見えませんでした。男の子はさつと本を取り、夕暮れの中をアパートに向かって駆けだしました。

きれいな絵のついた本がよかった。白黒の本なんてつまらない。汚れているし、折れているし。本当はそう思っていました。でも、部屋には夜に向かって時間ばかりがぼうぼうと繁っていました。男の子はまだまだ独りでした。それで、拾った本をあてずっぽうに開き、そこに大きく書かれていた文字を読んだのです。

各教材の冒頭には、学習の見通しを立てたり、学習意欲をもったりすることができるよう、リード文を置きました。

脚注欄には、重要な語句と漢字を抜き出して示し、意味や類義語・対義語を調べたり、短文を作ったり、漢字の使い方確かめたりすることで、語彙を広げられるようにしました。

* 語句

対 にぎやか

類 夢中

意 興味を引く

意 あてずっぽう

漢字

誘う 黙る

研ぐ 優しい

染み

オ、ム、ラ、イ、ス。

その横に、作り方、と書いてあります。ざぶんと川に飛び込んだような楽しい驚きでした。つまり、ここに書かれているとおりに作ればオムライスができるということなのです。ぼくにもオムライスが作れるかもしれない、と思うと居ても立ってもいられず、思わず冷蔵庫から卵を取り出していました。

途中で母が帰ってきて、男の子は、お帰りなさい、と声をかけただけでした。いつもなら飛びついていくのに、コンロの前を離れるわけにはいかなかったのです。

二時間もかかってでこぼこしたオムライスができあがった時、男の子はまだ川の中で泳いでいるような気分でした。どうにか一人でオムライスを完成させた昂り^{たなかぶ}と疲労、しかし思ったようなヒヨコ色には仕上がらなかった無念、包丁で切つてしまった左手の中指の痛み、いよいよオムライスのお皿を母の前に差し出す時の緊張。いろんな気持ちの波にもまれ、足もとがおぼつかなくなりそうでした。

「……おいしいよ。」

母はそう言ったきりでした。でも、そのひと言で十分だったのです。ぼろぼろ

と母のこぼす涙が男の子の胸にしみました。どうして泣いているのか、聞きたいようで聞きたくないようで、胸の中にはやっぱりさざ波が立っているのです。

それからは夕方まで公園のベンチに座ることも、部屋でただぼうつと母の帰りを待つこともなくなりました。拾った本を何度も読み、夢中で繰り返しオムライスを作りました。

いくら気をつけても焦げたり破けたりしていた卵の皮が、突然、ふわふわのところに仕上がった日のことは忘れられません。すうごくおいしい！と目を丸くした母の笑顔より、男の子のほうがもつと弾んだ顔をしていました。おいしいものを作ってもらうよりも作ってあげられるほうが、もしかしたらうれしいのかもしれません。

とびきりのオムライスを作れるようになって、独りであることを忘れました。

玉葱の皮を剥きながら、ポウルで卵をかき混ぜながら、わくわくしています。玉葱と卵とつながっているような気持ち、あるいは玉葱や卵を通して誰かとつながるような気持ち、でしょうか。誰とつながっているのかは、よくわかりません。母とはもちろん、この料理本を書いた人とも、この本の以前の持ち主とも、そし

* 語句

短 思わず

対 疲労

対 無念

対 緊張

意 おぼつかない

意 胸にしみる

意 目を丸くする

漢字

離れる …… 涙

繰り返す …… 焦げる

突然 …… 弾む

15

10

5

15

10

5

ておいしいものを作ろうとしたり作られたりしている全ての人も、ひっそりとゆるやかにつながっているような気がしています。

でも、なんとといっても、男の子がいちばん深くつながっているのだと実感した相手は男の子自身でした。台所に立つと、なぜだか身体からだと気持ちの輪郭がびたと合って、一分の隙もなく自分自身とつながった喜びが満ちてくるのです。たとえ部屋に独りでいてももうだいじょうぶ。オムライスの次には何を作ろうか、考えるだけで力がわいてくるようなのでした。

〈出典『はじめからその話をすればよかった』(二〇一三)〉

* 語句
短 ひっそり(と)

意 実感する

意 輪郭

意 一分の隙もない

■宮下奈都

作家 「一九六七年」 福井県の生まれ



普通の人々の日常生活を作品の主な舞台として取り上げ、そこで挿れ動く登場人物の心情をみずみずしい筆致ひつちで描き、注目を集める。

長編小説『スコールNo.4』のほか、小説に『遠くの声に耳を澄ませ』『よろこびの歌』『誰かが足りない』など。

教材の目標を明示し、内容を理解し、言葉の力をつけるための具体的な学習課題を設定しました。

学びの道しるべ

■公園で拾った本が男の子の心情にもたらした変化について考える。

■小説中の表現の特徴とくを捉え、その表現に託された男の子の心情を明らかにする。

1 主人公の男の子が置かれている状況についてまとめてみよう。

2 「ぼろぼろと母のこぼす涙が男の子の胸にしみました。どろどろと泣いているのか、聞きたいようで聞きたくないようで、……」(42・15)の場面における母と男の子のそれぞれの思いについて話し合おう。

3 次の比喩的な表現から読み取れる男の子の心情を考えよう。

1 「部屋には夜に向かって時間ばかりがぼうぼうと繁しげっていました。」(41・13)

2 「どぶんと川に飛び込んだような楽しい驚きでした。」(42・2)

3 「男の子はまだ川の中で泳いでいるような気分でした。」(42・9)

4 オムライスを初めて作った前と後、さらにとびきりのオムライスを作れるようになった後では、男の子の心情はどのように変化したか、簡潔にまとめてみよう。

5 「なぜだか身体と気持ちの輪郭がびたと合って、一分の隙もなく自分自身とつながった喜びが満ちてくるのです。」(44・4)という場面における男の子の心情について具体的に説明しよう。

学びを広げる

他の人や自分自身とつながるといふことについて、この小説を読んで考えたことを話し合おう。

読んで学んだことを表現に結びつけ、学習を広げたり深めたりする学習活動を設定しました。



ブックガイド 1

● 忍ぶ川……………三浦哲郎



複雑な家庭環境の二人が出会い、貧しさの中で結ばれた愛を描いて芥川賞を受賞した表題作の他、六編の小説を取録。

● さがしもの……………角田光代



学生時代に売った古本と世界各地で思わぬ再会をはたす「旅する本」など、本をめぐってくり広げられる九つの物語。

● ユタとふしぎな仲間たち……………三浦哲郎



東北の山あいの村に転校した少年、村の子どもたちになかなかなじめずいたが、ある日座敷わらしと出会った。

● 降り積もる光の粒……………角田光代



筆者の「旅好きだけど、旅慣れない」スタイルで出会った人やできごとなどに、旅にまつまわる記憶をつづった随想集。

● 完本短篇集モザイク……………三浦哲郎



若い頃から「短篇作家」を志した作者が、百編をめざして書きつづった短編集。「とんかつ」など六十二編を取める。

● 今日もごちそうさまでした……………角田光代



どんな時も、ご飯の時間にきっちりご飯を食べてきた。筆者の食べ物への思いが詰まった随想集。

脚注欄に示した語句や漢字を定着させるための学習課題を設定しました。

語句

1 次の文の（ ）内にあてはまる語句を、後の語群から選んで完成させ、それぞれの意味を確かめよう。

1 興味を（ ）。

2 胸に（ ）。

3 一分の（ ）。

「しみる 隙もない 引く」

2 次の文の1、2について対義語を調べよう。また3の類義語をいくつかあげてみよう。

1 にぎやか

2 緊張

3 夢中

3 次の語句を使って短文を作ろう。

1 思わず

2 ひっそり（と）

漢字

1 次の傍線部の片仮名を、漢字と送り仮名で書こう。

1 包丁をトグ。

2 壁紙のシミ。

3 その場をハナレル。

4 糸をクル。

5 焼き魚がコゲル。

6 球がハズム。

2 次の漢字を使った熟語を調べ、書き出そう。

1 誘

2 黙

3 優

3 「突然」のように、末尾に「然」のつく熟語を調べ、それぞれの意味を確かめてみよう。

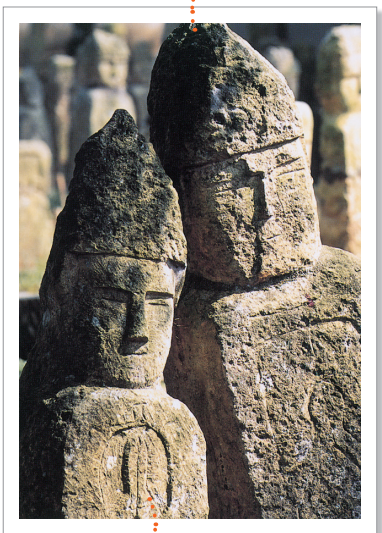
楽しみながら表現する力を養えるよう、生徒が興味・関心をもてる題材を取り上げ、具体的な手順や例を示し、学習に取り組みやすくしました。



なんて、言っている？

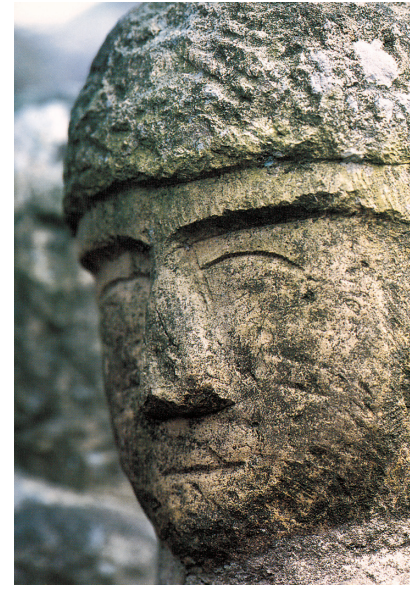
写真を見て、想像力をはたらかせ、言葉にしてみよう。例にならって、左ページのそれぞれの石仏がなんと言っているのか、「せりふ」を考えてみよう。

例

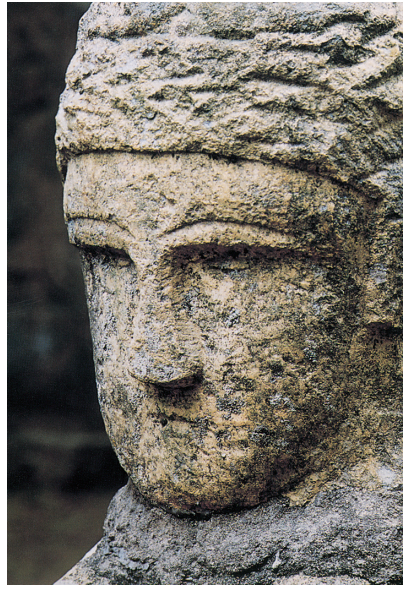


流れ

- 1 写真を選び、「せりふ」を考える。
- 2 選んだ写真と、考えた「せりふ」を発表する。発表する時は、「せりふ」にふさわしい言い方を工夫する。
- 3 写真を印刷したカードに「せりふ」を書き込み、カードを集めて展示しても楽しい。



B



A



C

古典の響き



今、私たちは、古典をとおしてはるかな昔に生きた人々に向き合おうとしています。古典には美しい言葉の響きがあります。その響きによく注意して、次の文章を繰り返し声に出して読んでみましょう。

今は 昔、竹取の翁と いふ 者 ありけり。

今となつては昔のことだが、竹取の翁という者がいた。

野山に まじりて 竹を 取りつつ、
よろづの ことに 使ひけり。

野山に分け入って竹を取つては、いろいろなことに使つていた。

名をば、さぬきの造となむ いひける。

名は、さぬきの造といった。

その 竹の 中に、もと 光る 竹なむ 一筋
ありける。

その竹の中に、根もとの光る竹が一本あった。

あやしがりて、寄りて 見るに、筒の中
光りたり。

(「竹取物語」)

不思議に思つて、近寄つて見ると、筒の中が光っている。

春は あげぼの。やうやう 白く なりゆく
山ぎは、少し あかりて、
紫だちたる 雲の 細く たなびきたる。

春はあげぼの(がよい)。だんだん白くなつていく山際が、少し明るくなつて、紫がかつた雲が細くたなびいている(のがよい)。

夏は 夜。月の ころは さらなり、闇も
なほ、蛍の 多く 飛びちがひたる。
また、ただ 一つ 二つなど、ほのかに
うち光りて 行くも をかし。
雨など 降るも をかし。

10

夏は夜(がよい)。月のある頃は言うまでもなく、闇夜でもやはり、蛍が多く乱れ飛んでいる(のはよい)。
また、(蛍が闇の中を)ほんの二つ二つなど、ほのかに光つて飛んでいくのも趣がある。
雨などが降るのも風情がある。

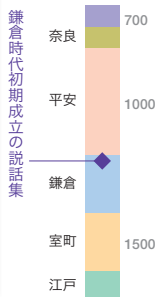
(清少納言「枕草子」)

古文の入門教材では、本文の流れに沿って理解しやすいよう、現代語訳を積極的に取り入れるとともに、丁寧な注釈を示しました。

古文入門

児のそら寝

宇治拾遺物語



鎌倉時代初期成立の説話集

教材名の下に「成立年代バー」をおき、ひとめで作品の成立時期がわかるようにしました。

①今は昔、比叡の山に 児 ありけり。僧たち、
よひの つれづれに、

「いぎ、かいもちひ せむ。」

と言ひけるを、この 児、心寄せに 聞きけり。
さりとして、し出ださむを 待ちて 寝ざらむも、
* わりかりなむと 思ひて、片方に 寄りて、寝たる
由にて、出でくるを 待ちけるに、すでに
し出だしたる さまにて、ひしめき合ひたり。

5

今となつては昔のことだが、比叡山(延暦寺)
に児がいた。(ある日)僧たちが、宵の手持ちぶ
きたな時に、
「さあ、ぼた餅を作ろう。」

と言つたのを、この児は、期待して聞いた。そう
かといって、作りあげるのを待つて寝ないでいる
のも、きつとよくないだろうと思つて、(部屋の)
片隅に寄つて、寝たふりをして、できあがるのを
待つていたところ、もう作りあげた様子で、(僧
たちが)集まつてがやがや騒ぎ合つている。

10

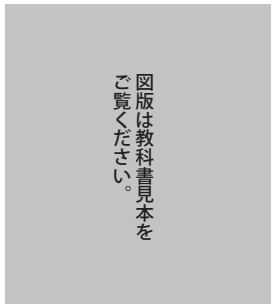
この 児、さだめて おどろかさむずらむと
待ちゐるたるに、僧の、
⑤「もの申しさぶらはむ、おどろかせたまへ。」
と言ふを、うれしとは 思へども、ただ 一度に

この児は、きつと(誰かが私を)起こそうとす
るだろうと待つていたところ、(二人の)僧が、
「もしもし、目をお覚ましなさいませ。」
と言ふのを、うれしいとは思ふけれど、たつた一
度(呼ばれただけ)で

5



延暦寺



児(「法然上人絵伝」鎌倉時代)

- ①今は昔 説話の語り出しによく使われる表現。
- ②比叡の山 京都府と滋賀県の県境にある比叡山。ここでは、比叡山にある延暦寺を指す。
- ③児 学問や行儀見習いのために寺院に預けられていた貴族や武士などの子弟。
- ④よひ 宵。日没から夜中までの時間。当時の僧侶は、正午前に食事をしてあとは食事をしないことが多かった。
- ⑤もの申しさぶらはむ 「物を申しましよう」と丁寧

* 語句
つれづれ・いぎ・わりし・おどろかす・おどろく

いらへむも、待ちけるかともぞ 思ふとて、いま
ひとこゑ 呼ばれて いらへむと、念じて 寝たる
ほどに、

「や、な 起こし奉りそ。をさなき 人は、
寝入りたまひにけり。」

と言ふ こゑの しければ、あな、わびしと
思ひて、いま 一度、起こせかしと、思ひ寝に
聞けば、ひしひしと、ただ 食ひに 食ふ 音の
しければ、すべなくて、無期の のちに、

「えい。」

と いらへたりければ、僧たち 笑ふ こと
限りなし。

(巻第一 十二)

返事をするのも、待っていたのかと(僧たちが)
思うといけないと考えて、もう一度呼ばれて(か
ら)返事をしようと、じつと我慢して寝ているう
ちに、

「おい、お起こし申しあげるな。幼い人は寝入っ
てしまわれた。」

と(僧たちの)言う声がしたので、ああ、困った
と思つて、もう一度、起こしてくれよと、思いな
がら寝て聞いていると、むしやむしやと、ただひ
たすらに(ぼた餅を)食べる音がしたので、(児
は)どうしようもなくて、長い時間がたったあと
に、

「はい。」

と返事をしたので、僧たちは笑うことはなはだし
い。

学びの道しるべ

■ 歴史的仮名遣いに注意しながら音読し、児と僧たちの思いを讀み取る。

- 1 歴史的仮名遣いに注意して本文を音読しよう。
- 2 児はなぜ「寝たる由」(212上6)をしたのか、そのあとの文章を讀んで考えよう。
- 3 最後で、僧たちが笑つたのはなぜか、考えよう。
- 4 児と僧たちとのやりとりを讀んでみて、現代の私たちと変わらなと思うところはないか、話し合おう。

宇治拾遺物語

うじしゅういものがたり ……………

説話集。編者未詳。鎌倉時代初期の成立といわれ、百九十七の説話を収める。仏の功德や高僧の逸話などの仏教説話のほか、昔話や笑い話なども収められており、平安時代から鎌倉時代にかけての人々の生活をうかがうことができる。本文は『新編日本古典文学全集』によつた。

⑥ もぞ思ふ 思うといけない。「もぞ」は悪いことを予想して心配しているときに使う表現。

⑦ な起こし奉りそ お起こし申しあげるな。「な……そ」は禁止の意味を表す。

⑧ 思ひ寝 何かを思いながら寝ていること。

* 語句

いらふ・もぞ・念ず・な(……そ)・奉る・わびし

古文のとびら 1

歴史的仮名遣い・古語の意味と形

◆歴史的仮名遣い

現代の私たちが使っている発音に基づいて決められた仮名遣いを「現代仮名遣い」というのに対し、平安時代の頃の発音をもとにした仮名遣いを「歴史的仮名遣い」という。その読み方の要点は、次のように六つにまとめることができる。

① 単語の初めにある「は・ひ・ふ・へ・ほ」は「ハ・ヒ・フ・ヘ・ホ」と読み、中または終わりにある「は・ひ・ふ・へ・ほ」は「ワ・イ・ウ・エ・オ」と読む。

初め	はし(橋)	かは(川)	→カワ
	ひな(雛)	たひら(平ら)	→タイラ
	ふみ(文)	まふ(舞ふ)	→マウ
	へいけ(平家)	うへ(上)	→ウエ
	ほたる(蛸)	にほひ(匂ひ)	→ニオイ

*ただし、次のような複合語の場合には、中または終わりにあっても「ハ・ヒ・フ・ヘ・ホ」と読む。

あさき^あひ^ひ↓アサヒ(朝日) はつ^は十^じはる^は↓ハツハル(初春)

15

10

② フ行の「ゐ・ゑ・を」は「イ・エ・オ」と読む。

ゐる↓イル こずゑ↓コズエ をとめ↓オトメ

③ 次のように母音が重なる場合は、長音で読む。

アウ↓オー [au ↓ ō]	→タロー [tarō]	(太郎)
イウ↓ユー [iu ↓ yū]	→シュート [syūto]	(舅)
エウ↓エー [eu ↓ yō]	→シヨート [syōto]	(兄人)
オウ↓オー [ou ↓ ō]	→ソイー [soi]	(僧衣)

* 次のように、①と③が両方あてはまる場合がある。

いふ [ifu]	→イウ [iu]	→ユー [yū]	(言ふ)
けふ [kefu]	→ケウ [keu]	→キョー [kyō]	(今日)

④ 「じ」と「ぢ」、「ず」と「づ」を使い分ける。

まじる(交じる)・ひとすぢ(一筋)

こずゑ(梢)・よろづ(万)

*ただし、読む時はいずれも「ジ」「ズ」と発音する。

⑤ 助動詞・助詞などに含まれる「む」は「ん」と読む。

申さむ↓モーサン 咲かなむ↓サカナン

20

15

10

5

古文のとびら 歴史的仮名遣い・古語の意味と形

古典への理解を深めたり、現代との関わりを考えたりすることができるコラムを随所に設けました。

源氏物語の世界へ

いづれの御時にか、女御、更衣あまた候ひたまひける中に、いとやむことなき際にはあらぬが、すぐれてときめきたまふありけり。

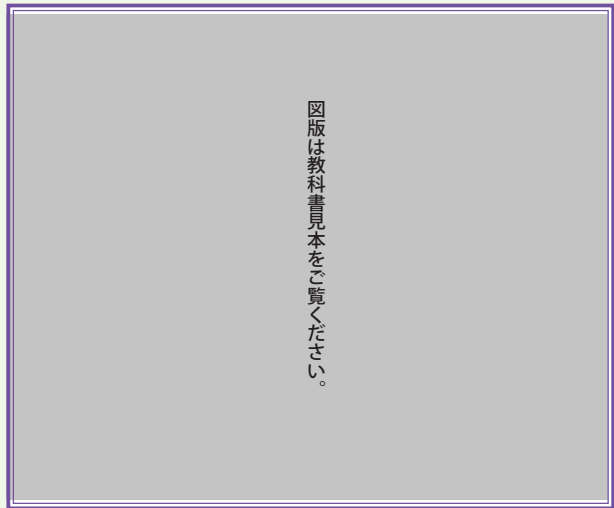
訳 一つの時代のことであろうか、帝の周辺に女御や更衣などの女性が大勢いる中に、身分は高くない方で、すばぬけてすばらしく、帝に愛された女性(桐壺の更衣||光源氏の母)がいた。

5

『源氏物語』は今から約千年前に書かれた物語である。作者は紫式部。主人公・光源氏は、桐壺帝と桐壺の更衣との間に生まれ、容姿、才能に恵まれた皇子でありながら、源氏姓を与えられて臣に下った。紫の上や夕顔などの多くの恋愛を繰り広げながら、臣としての地位を極めたが、後には出家を志す光源氏。彼と、彼を取り巻く人々の生きる姿、また、源氏死後の子孫たちの行方を、五十四の巻に仕立て、恋を中心に織りなした古典の名作である。

時を経て愛され続けた『源氏物語』だが、五十四帖にも及ぶこの大長編は、簡単には読み通せない。そこで、古くから多くの注釈や訳本が作られてきた。今では大和和紀

図版は教科書見本をご覧ください。



少年時代の光源氏と藤壺の女御、桐壺帝。
光源氏は、藤壺に亡き母桐壺の更衣の面影を見る。
(大和和紀『あさきゆめみし 1』より)

『あさきゆめみし』などの漫画化もあり、また、二十以上の言語に翻訳され、日本のみならず世界中にファンがいる。現代語訳でも漫画でも、一度読み通して、「後の位も何にかはせむ」と菅原孝標女に憧れを抱かせたほどの、世界に通用する魅力を感じてみてはどうだろうか。

5

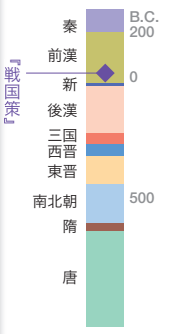
古典編 古文

漢文入門 虎の威を借る



虎の威を借る狐 (『成語故事』)

教材名の下に「成立年代バー」をおき、ひとめで作品の成立時期や作者の活動時期などがわかるようにしました。



1 虎 百獸を求めて之を食らふ。狐を得たり。

2 狐曰はく、

3 「子敢へて我を食らふこと無かれ。

4 天帝我をして百獸に長たらしむ。

5 今、子我を食らばば、是れ天帝の命に逆らふなり。

6 子我を以て信ならずと為さば、吾子の為に先行せん。

7 子我が後に随ひて觀よ。

1 虎は動物たちを探し求めてはこれを食べていた。狐を捕まえた。

2 狐が言うには、

3 「あなたは決して私を食べてはいけません。天の神が私を動物たちの王にしたのです。

4 今、あなたが私を食べたなら、天の神の命令に逆らうことになりすよ。

5 あなたが私を信じられないのなら、私はあなたのために先に立つて歩いてみましょう。

6 あなたは私の後について来てよくご覧なさい。動物たちが私を見かけて、どうして逃げないことがあるでしょうか。いや、きつと逃げますよ。」と。

7 虎はなるほどと思った。そこで(虎は)そのまま狐についていった。

8 百獸の我を見て、敢へて走らざらんや。」と。

9 虎以て然りと為す。故に遂に之と行く。

10 獸之を見て皆走る。

11 虎獸の己を畏れて走るを知らざるなり。

12 以て狐を畏ると為すなり。

10 動物たちは狐と虎の姿を見て皆走って逃げた。虎は動物たちが自分を畏れて逃げたということを知らなかつた。

11 狐を畏れているのだと思った。

学びの道しるべ

■ 何度も音読し、「虎の威を借る」の意味について理解を深める。

↓ 語句・句法の解説は276ページ参照。

- 動物たちが逃げていったのはなぜか、考えよう。
- 動物たちが逃げたことを虎はどう考えたのか、まとめよう。
- 「虎の威を借る狐」という言葉は、現在どのような意味で用いられているか、調べよう。

12 以て 虎 不 見 獸 百 子 子 今 天 子 狐 虎 求 百 獸 而 食 之 得 狐

11 為 不 知 之 以 之 我 之 我 以 我 帝 使 我 食 我 也

10 獸 見 以 之 為 見 我 後 觀 我 不 信 吾 為 子 先 行

9 虎 以 然 故 遂 与 之 行

8 百 獸 之 我 而 敢 不 走 乎

7 子 隨 我 後 觀 我 不 信 吾 為 子 先 行

6 子 以 我 為 不 信 吾 為 子 先 行

5 今 子 食 我 是 逆 天 帝 命 也

4 天 帝 使 我 長 百 獸

3 子 無 敢 食 我 也

2 狐 曰 虎 求 百 獸 而 食 之 得 狐

1 虎 百 獸 之 我 而 敢 不 走 乎

原稿用紙の使い方

げんこう

原稿用紙は、字数の決められた文章を書く時などに便利である。使い方に特定の基準はない。ここでは一般的に用いられている書き方を示すので、参考にしてほしい。



縦書き原稿用紙

① 題名

二行目の上から三、四字めから書き始める。副題をつける場合には、次の行に題名より下げて書く。副題にはダッシュ(―)をつけることよい。

② 氏名

題名の次の行か一行あけた行に書く。終わりを下から一、二字分あける。

③ 書きだし

本文は、氏名の次の行か一行あけた行から書き始める。最初の一字分をあける。行を改めて新しい段落にする時も、最初の一字分をあける。

④ 句読点・符号

句読点(。・)() やかっこ(「」・『』・()・〈〉など)、疑問符(？)、感嘆符(！)などの符号類は、それぞれ一字分使う。疑問符、感

わたしにとっての国際化

——自分の意見をもつということ
一年一組 松本 一郎

「国際化」とか「国際人」とかいうことは
を聞くと、思い出す話がある。

中学一年のホームルームの時間、文化祭の
出し物の決め方が安易に「多数決」というこ
とになりそうになったとき、オーストラリア
からの帰国生だけが「みんなでもっと話し合
うべきだ。」と反対した。

わたしは、そんなことは考えたこともな
かったし、みんなの前で自分の考えをはっきり
と言えぬその子がとてもステキに見えた。で
も、その子の日本語がちよっとおかしかった
から、みんなといっしょにわたしもゲラゲラ
笑ってしまった。けれども、その子はずっと
オーストラリアで暮らしていたわけだし、学
校ではいつも英語を話していたというから、

符号の使い方

・ なか点・なかぐる

①名詞を並列する

②外来語の句切れ・日付などを示す

「」 かぎかっこ

①会話や引用を示す

②特定の言葉を強調する

「」 二重かぎ

①かぎかっこの中でかぎかっこを使う

②書名を示す

() かっこ

言葉を補足する内容などを加える

― ダッシュ

①言い換えを示す ②間を示す

⋮ 点線

①省略を示す ②余韻を示す

〽 波形

時・場所などの「〇〇から△△まで」を示す

① 題名

二行目の上から三、四字めから書き始める。副題をつける場合には、次の行に題名より下げて書く。副題にはダッシュ(―)をつけることよい。

② 氏名

題名の次の行か一行あけた行に書く。終わりを下から一、二字分あける。

③ 書きだし

本文は、氏名の次の行か一行あけた行から書き始める。最初の一字分をあける。行を改めて新しい段落にする時も、最初の一字分をあける。

④ 句読点・符号

句読点(。・)() やかっこ(「」・『』・()・〈〉など)、疑問符(？)、感嘆符(！)などの符号類は、それぞれ一字分使う。疑問符、感

嘆符のあとに文を続ける場合は、一字分あける。ダッシュ(―)や点線(⋮)は二字分使う。

⑤ 会話文

かぎかっこ(「」)で囲む。

⑥ 引用文

一、二行程度の短いものは、かぎかっこ(「」)で囲む。長いものは改行して引用文全体を二字程度下げて書く。

⑦ 数字・アルファベット

数字は、縦書きの場合、漢数字を用いるのが原則。

横書き原稿用紙

縦書きに準じるが、次のような違いがある。

① 読点の代わりにコンマ(、)を用いることがある。

② 数字は、算用数字を用いるのが原則。「一般的」「一」「二」「三」のような場合は漢数字を用いる。



指導書・教材

指導に役立つ資料と学習を助ける教材類

指導書 本体価格二四、〇〇〇円（税別）

指導資料

教材研究に役立つ資料や、実際の授業や評価で活用できる情報を豊富に掲載しています。

発問例集

指導資料に掲載した発問をまとめたデータを収録しています。

ワークシート

- 学びの道しるべシート
- 構成・内容理解シート
- 語句・漢字シート
- 本文漢字シート
- 本文語句シート
- 表現活動シート
- 古文品詞分解シート

基本テスト

短時間で基礎を養う小テスト。現代文編では漢字や語句、古文では文法、漢文では句法などについて出題します。

評価問題

定期考査などに使える問題を、各教材、難易度別に複数収録しています。

補充教材

教科書の教材に関連する資料や、発展的に読むことができる作品などを収録しています。

教科書原文

教科書教材文の原文データを収録しています。

朗読CD

一部の教材について、朗読を収録した音声CDです。

漢文エディタ

訓読文や漢文テストの問題文を編集するためのソフトです。

学習課題ノート

別売の生徒用教材『学習課題ノート』のデータを同梱しています。

教師用教科書

教科書の紙面に、文章構造や要約、口語訳や文法の解説、「学習の手引き」の解答例など、授業に役立つ情報を青字で刷り込んだものです。

指導書別売品

教師用教科書 本体価格五、〇〇〇円（税別）

指導書の「教師用教科書」と同じものです。

指導資料PDF版 本体価格五、〇〇〇円（税別）

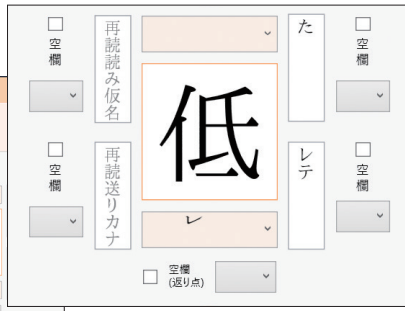
指導書の「指導資料」の紙面をPDFデータにしたものです。

生徒用教材

学習課題ノート 本体価格六〇〇円（税別）

教科書準拠のワークブックです。別冊解答には、自習にも使える詳しい解説が付いています。

訓点の編集



「漢文エディタ」





デジタル教科書

指導者用デジタルテキスト

はじめに

●教科書の内容を最大限に活用すること

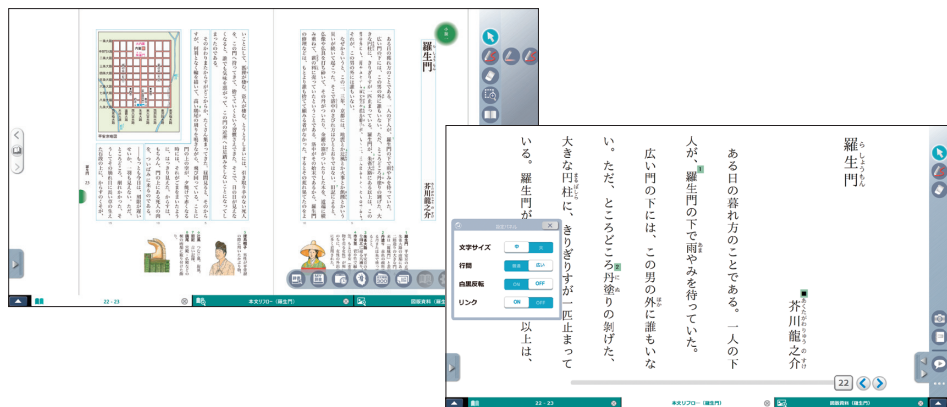
デジタルテキストでは、教科書本文の拡大提示、付録や図版資料のインデックスおよびその拡大提示など、教科書の内容を提示用の素材として、最大限に活用することをコンセプトに制作いたしました。

●CoNETSビューア

平成29年度版からは教科書会社12社が参画して開発した共通プラットフォームCoNETSビューアでのご利用になります。

▶CoNETSについて (<http://www.conets.jp/>)

CoNETSビューアでは、先生ごとにユーザーを登録することで、書き込み情報や履歴などをそれぞれに保有することができます。



※画面サンプルはすべて「精選国語総合」となっております。



三省堂は、CoNETSプラットフォームを通じてデジタル教科書を提供してまいります。

指導者用デジタルテキスト (校内フリーライセンス)※1			
OS	ライセンス期間	価格	インストール方法
Windows版	教科書利用期間一括※2	40,000円+税	DVD-ROM / ダウンロード
学習者用デジタルテキスト (1端末1ライセンス)※3,4			
OS	ライセンス期間	価格	インストール方法
Windows版 / iOS版	教科書利用期間一括※2	1,500円+税	ダウンロード

※1 校内のすべての端末にインストール可能です。なお、価格は1学年の価格です。

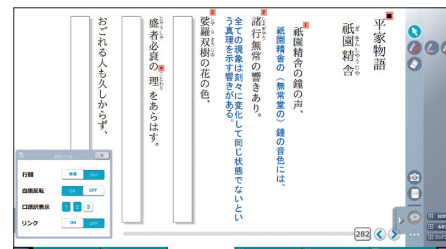
※2 収録されている検定教科書の使用期間中はご利用いただけます。

※3 教師用デジタルテキスト購入校のみ購入できます。

※4 インストールする端末(1端末)ごとにライセンス料金をお支払いいただけます。

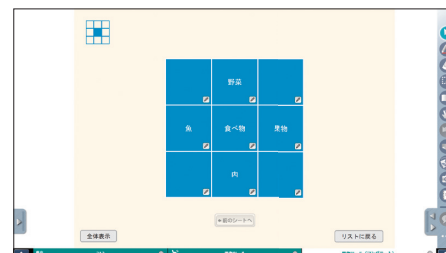
指導者用 豊富なコンテンツで授業をサポート

■本文解説(古文、漢文)



本文の口語訳のon/offができます。マスクをはがしながら表示することもできます。

■思考ツール



デジタルテキストオリジナルのコンテンツも多数収録しています。

■コンテンツ一覧



「フラッシュカード」「図版資料」「人物相関図」など、さまざまなコンテンツを収録。

■オンライン辞書



授業での提示に特化した指導者用の辞書サイトをデジタルテキストのリンクからご利用いただけます。

●動作環境 指導者用 (2017年4月現在)

Windows版	
OS	Windows 7 SP 1 / Windows 8.1 / Windows 10 (32bit / 64bit 対応)※1
ブラウザ	Internet Explorer 11
CPU	Intel Core i3以上推奨
メモリ	4GB以上
空き容量	4GB以上(ビューア1GB+教材3GB)
モニタ	True Color (32bit)※2
その他	.NET Framework 4.5以降 Aero設定: ON ※2

※ Microsoft, Aero, Internet Explorer および Windows は、米国 Microsoft Corporation の、米国およびその他の国における登録商標または商標です。

※1 Windows RT には対応していません。

※2 Windows 7 の場合のみ。

動作環境や導入にあたっての条件等は、CoNETSのWebサイトにて最新の情報をご確認ください。 <http://www.conets.jp/>

学習者用デジタルテキスト についての特徴や動作環境など、

その他詳細な情報は三省堂教科書・教材サイトをご覧ください。

●体験版DVD-ROMのお申し込みはeメールにてご連絡ください。

eメールアドレス: info-tbdt@sanseido-publ.co.jp

★三省堂教科書・教材サイト
<http://tb.sanseido.co.jp>

